

きょうと福祉倶楽部だより

2022年 4号

食事を助ける便利な用品

麻痺があると握ったり、つまんだりという動作が困難になります。だけど食事を自分でとるにはそういう動作ができることが求められます。

お箸を持てたり、スプーンを自分で口に運べたら御自身でやれる行為が取り戻せます。それは自尊感情を取り戻すきっかけにもなります。

そこでこれらの商品をご紹介します。

奈良県生駒市の「箸ぞうくん」(有限会社ウインド)というお箸です。

握力が無くともきちんと「つまむ」動作ができるお箸です。

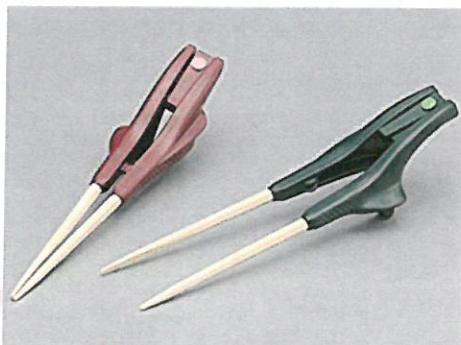
メーカーの説明は下記のとおり。

普通の「箸」を使うときの手の動きを

①箸を持つ ②箸を動かす ③箸をコントロールする

と大きく3つに分け、これらを軽減したりなくしたりするように考えられています。

箸先がクロスせず、軽い力で使えます。工夫された箸先でがっちりつまみます。



もう一点は新潟県の株式会社青芳の willassist(ウイルアシスト) シリーズです。形状記憶樹脂を用いたグリップの形状変化が可能なスプーンなど斬新なアイデア満載の商品が目白押しです。

グリップの形状が変えられることで、握らなくとも落とさない形を作ったり、関節の可動域が狭くて口元まで届かないスプーンの先を口元に運ぶ事もできます。

商品の種類が多いので興味がある方は是非ホームページを覗くか、介護ショップからカタログを取り寄せてください。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う
利用者のみなさんへの緊急のお願い



- ① サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方もマスクの着用をお願いします。スタッフだけがマスクをしていても、利用者の方がマスクをしていないければ双方の感染の危険が拡大します。
- ② 利用者、同居の家族のかたの体調不良（発熱など）はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。万が一感染症の疑いがある場合には防御手段を講じたうえでサービスを行います。



有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイッセル101号
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808
E-mail info@fukushi-club.com